

事後評価調書(案)

I 事業概要																																																		
事業名	農業農村整備事業(かんがい排水事業)																																																	
地区名	豊川総合用水地区																																																	
事業箇所	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市																																																	
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県東部に位置し、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市の5市に及ぶ温暖な気候に恵まれた、都市近郊地域である。</p> <p>豊橋市から田原市に及ぶ渥美半島地域における畑作農業は、天水やため池からの用水に依存していたため、さつまいもなどが主要作物であったが、昭和43年の豊川用水の全面通水を契機にキャベツなどの露地野菜や花き類を主体とする農業が営まれ、全国有数の畑作農業地帯へと発展した。</p> <p>しかし、農業の発展とともにビニールハウスやガラス温室などの施設園芸が急速に増大し、営農形態が大きく変化したことにより用水の安定供給が困難となるとともに、施設の老朽化による漏水事故が頻発していた。</p> <p>そのため、本事業により、用水路を改修するとともに水管理施設を整備し用水の安定供給を図ることを目的として、昭和61年度から県営かんがい排水事業豊川総合用水地区を実施し、平成21年度に完了した。</p>																																																	
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>老朽化した用水路の改修及び無効放流の抑制を図る水管理施設の整備を行い、用水の安定供給の確保を図ることにより、農業経営の安定に資する。</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>																																																	
事業費	事業費		内訳																																															
	172億円		■工事費 137億円、■用補費 4億円、■その他 31億円																																															
事業期間	採択年度	昭和61年度	着工年度	昭和61年度	完成年度	平成21年度																																												
事業内容	<p>用水路改修 (支線水路142.2km、末端配管1,111.1ha、付帯施設)</p> <p>水管理施設 (フロートバルブ、流量計等)</p>																																																	
II 評価																																																		
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>施設改修後、漏水は発生していない。</p> <p>・漏水件数及び補修費(地元聞き取り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>補修費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成11年度</td><td>101</td><td>12,816</td></tr> <tr><td>平成12年度</td><td>103</td><td>11,961</td></tr> <tr><td>平成13年度</td><td>84</td><td>9,616</td></tr> <tr><td>平成14年度</td><td>75</td><td>8,718</td></tr> <tr><td>平成15年度</td><td>74</td><td>7,726</td></tr> <tr><td>平成16年度</td><td>43</td><td>5,178</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>39</td><td>4,276</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>25</td><td>2,860</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>11</td><td>1,388</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>1</td><td>101</td></tr> <tr><td>平成21~25年度</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>・受益面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>再々評価時(H16)</th> <th>計画(H21)</th> <th>実績(H25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受益面積(ha)</td> <td>15,544</td> <td>15,412</td> <td>15,388</td> </tr> </tbody> </table> <p>・水管理施設(無効放流の抑制)</p> <p>フロートバルブを156箇所設置し、この区域での無効放流はなくなった。</p>						件数	補修費(千円)	平成11年度	101	12,816	平成12年度	103	11,961	平成13年度	84	9,616	平成14年度	75	8,718	平成15年度	74	7,726	平成16年度	43	5,178	平成17年度	39	4,276	平成18年度	25	2,860	平成19年度	11	1,388	平成20年度	1	101	平成21~25年度	0	0		再々評価時(H16)	計画(H21)	実績(H25)	受益面積(ha)	15,544	15,412	15,388
		件数	補修費(千円)																																															
	平成11年度	101	12,816																																															
	平成12年度	103	11,961																																															
	平成13年度	84	9,616																																															
平成14年度	75	8,718																																																
平成15年度	74	7,726																																																
平成16年度	43	5,178																																																
平成17年度	39	4,276																																																
平成18年度	25	2,860																																																
平成19年度	11	1,388																																																
平成20年度	1	101																																																
平成21~25年度	0	0																																																
	再々評価時(H16)	計画(H21)	実績(H25)																																															
受益面積(ha)	15,544	15,412	15,388																																															

	2) 主要目標の達成状況	【達成状況に対する評価】 用水の安定供給の確保及び無効放流の抑制が図られていることから、農業経営の安定化に寄与しており、事業目標は達成できた。																																																																																
	2) 副次目標の達成状況	【達成状況】 なし 【達成状況に対する評価】 なし																																																																																
②事業効果の発現状況		【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】 <table border="1" data-bbox="399 566 1342 1263"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>再々評価時(H16)</th> <th>計画(H21)</th> <th>実績(H25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>S61～H20(23年間)</td> <td>S61～H21(24年間)</td> <td>S61～H21(24年間)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>138</td> <td>137</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>174</td> <td>172</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td rowspan="11">効果の 算定 要因</td> <td>作付面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 水稻(ha)</td> <td>3,118</td> <td>2,997</td> <td>3,099</td> </tr> <tr> <td> キャベツ(ha)</td> <td>3,007</td> <td>3,088</td> <td>3,473</td> </tr> <tr> <td> ブロッコリー(ha)</td> <td>492</td> <td>546</td> <td>568</td> </tr> <tr> <td> きく(ha)</td> <td>1,571</td> <td>1,330</td> <td>841</td> </tr> <tr> <td>単収</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 水稻(kg/10a)</td> <td>502</td> <td>500</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td> キャベツ(kg/10a)</td> <td>5,109</td> <td>4,431</td> <td>4,316</td> </tr> <tr> <td> ブロッコリー(kg/10a)</td> <td>1,775</td> <td>1,620</td> <td>1,551</td> </tr> <tr> <td> きく(本/10a)</td> <td>36,908</td> <td>36,100</td> <td>36,561</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益面積(ha)</td> <td>15,544</td> <td>15,412</td> <td>15,388</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・効果の算定要因の「単収」は、農林水産統計年報による。 ・効果の算定要因の「受益面積」「作付面積」は、地元聞き取りによる。 <p>【事業期間に対する評価】 事業期間が前回評価時と比べて1年延長したが、事業効果への影響はほとんど問題ない。</p> <p>【事業費に対する評価】 前回評価時との変動は軽微であり、問題ない。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 作付面積、単収、及び受益面積について変動は軽微であり事業効果は計画どおり発現している。</p>			再々評価時(H16)	計画(H21)	実績(H25)	事業期間		S61～H20(23年間)	S61～H21(24年間)	S61～H21(24年間)	事業費 (億円)	工事費	138	137	137	用地補償費	5	4	4	その他	31	31	31	合計	174	172	172	効果の 算定 要因	作付面積				水稻(ha)	3,118	2,997	3,099	キャベツ(ha)	3,007	3,088	3,473	ブロッコリー(ha)	492	546	568	きく(ha)	1,571	1,330	841	単収				水稻(kg/10a)	502	500	502	キャベツ(kg/10a)	5,109	4,431	4,316	ブロッコリー(kg/10a)	1,775	1,620	1,551	きく(本/10a)	36,908	36,100	36,561					受益面積(ha)	15,544	15,412	15,388				
			再々評価時(H16)	計画(H21)	実績(H25)																																																																													
事業期間		S61～H20(23年間)	S61～H21(24年間)	S61～H21(24年間)																																																																														
事業費 (億円)	工事費	138	137	137																																																																														
	用地補償費	5	4	4																																																																														
	その他	31	31	31																																																																														
	合計	174	172	172																																																																														
効果の 算定 要因	作付面積																																																																																	
	水稻(ha)	3,118	2,997	3,099																																																																														
	キャベツ(ha)	3,007	3,088	3,473																																																																														
	ブロッコリー(ha)	492	546	568																																																																														
	きく(ha)	1,571	1,330	841																																																																														
	単収																																																																																	
	水稻(kg/10a)	502	500	502																																																																														
	キャベツ(kg/10a)	5,109	4,431	4,316																																																																														
	ブロッコリー(kg/10a)	1,775	1,620	1,551																																																																														
	きく(本/10a)	36,908	36,100	36,561																																																																														
受益面積(ha)	15,544	15,412	15,388																																																																															
③事業実施による環境の変化		本事業は、既存の用水施設の改修及び水管理施設の整備をしたものであることから、マイナス影響はほとんどない。																																																																																

Ⅲ 対応方針（案）	
今後の事後評価の必要性	主要目標が計画どおり達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が計画どおり達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	水位の変動により、自動的にバルブの開閉を行うフロートバルブを使用することにより、無効放流を抑え、限られた水資源を有効活用する。
Ⅳ 事業評価監視委員会の意見	
Ⅴ 対応方針	